

議第13号議案、第86回国民スポーツ大会及び第71回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議についての賛成討論

私は、議第13号議案、第86回国民スポーツ大会及び第71回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議について、原案に賛成の立場から討論を行う。

本県では、昭和61年に第41回国民体育大会「かいじ国体」と第22回全国身体障害者スポーツ大会「ふれあいのかいじ大会」を開催した。

県内がスポーツの活力に包まれ、選手、県民が一体となって競技を盛り上げ、全国各地から訪れる多くの選手、大会関係者と交流し、感動の輪が広がったことを鮮明に記憶している。

また、両大会の開催を通じて、本県のスポーツ環境は著しく向上し、現在のスポーツの振興に結びついている。

このように両大会の開催は、スポーツの振興のみならず、地域の活力向上などに大きく貢献するとともに、県民の一体感の創出にも資するものである。

今回の大会招致については、山梨県スポーツ協会並びに

山梨県障害者スポーツ協会からも招致要望書が提出されている。

多くの方々から、大会の開催に向けた大変強いお気持ちを頂いており、県議会としても重く受け止め、それに応えなければならない。

長崎知事は本会議において、大会開催に際し、共生社会と持続可能性に重点を置くことと答弁されている。

また、多大な負担が後世に残ることがないように、新たな時代の大会モデルを大胆に全国に示していくとの考えも述べられている。

長崎知事のもと、今や本県は、グリーン・ゾーン認証制度に代表されるように、全国に先駆けた施策を展開している。

国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会においても全国に先駆けた斬新な運営を行い、山梨大会から大きく変わったと評価されるような素晴らしい大会になり、豊かな山梨に結びつくよう、二元代表制の一翼を担う県議会としても、積極的に推進すべきものと考えている。

以上申し上げ、賛成討論とする。

脱新型コロナウイルス実現と新世代エネルギーの開発に期待

早川町「山菜まつり」の再開に感激

本県の行政、県議会活動も令和5年の新年度に移行して早くも3か月が過ぎました。新年度もあつという間に4分1が“過ぎ去ってしまった”という気分です。新年度議会も召集され、知事選、統一地方選による新たな議会構成も決まり私は新会派の「自由民主党・開の国」の一員として議会活動に取り組んでいるところです。

この間、県政・県議会の目玉となったのは5月7日をもって、県民の皆様を不安に陥れていた新型コロナウイルスに関する法律上の位置付けが、従来の「2類」から「5類」へ移行されたことでした。

折しも、山梨日日新聞の県政担当の記者さんから取材を受け、その内容が5月9日付の『取材メモ』という欄で紹介されました。150字程度の小さなスペースで、私

の思いのすべてを紹介していただくには至りませんが、「収束へ向けての大きな節目」と強調するとともに、「ただし新型コロナが壊滅したわけでもなく、医療専門家からは、依然“第9波”の可能性も指摘されている。人ごみの中での感染予防は欠かせない」とも強調しておきました。同時に、大型連休中に再開された地元早川町の「山菜まつり」に参加したことを紹介し「久しぶりのふるさとのイベントに参加させていただき、その活気に感激しました」とも応えました。



山梨独自のエネルギー開発を全力支援

この『取材メモ』が掲載された5月9日には、県企業局・新エネルギーシステム推進室の米倉山電力貯蔵技術研究サイトに県議会水素社会実現に向けた政策研究会で「～カーボンニュートラルの実現に向けた「やまなしモデル」P2G事業への取り組み～」の研修・視察をして来ました。

「P2G」とは「Power to Gas」の略称で水素を利用した新世代エネルギーシステムの構築を目指す事業で本県では東レ株式会社、東京電力ホールディングス、株式会社東光高岳と共同で国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託事業として新エネルギー開発の基礎研

究を進めています。既に実用化の段階に入っていて、サントリー白州工場への導入が決まるなど、昨年度は岸田首相はじめ西村経産相、山口環境相など多くの新エネルギー関連省庁の幹部が視察と本県独自の事業推進への激励に訪れています。

令和5年も半年が過ぎ本県、そして私たちの暮らす西八代・南巨摩地域では県人口80万人割れをはじめとする様々な課題に直面していますが、新型コロナ克服、新エネルギー開発、中部横断道路整備など事業を核として全力でふるさと再生への努力が欠かせないというのが現在の心境であります。



東奔西走日記 望月 勝



■南部町たけのこまつり (令和5年4月16日)



■市川三郷町ぼたんの花まつり (令和5年4月22日)



■身延町西島地区 親子三代交流 (令和5年5月3日)



■早川町 南アルプス早川山菜まつり (令和5年5月3日)



■令和5年度県民緑化まつり(甲府市) (令和5年5月13日)



■身延町西島和紙の里 第13回西島和紙まつり (令和5年6月10日)



■第20回南部あじさい祭り (令和5年6月16日)



【山梨県議会議員】

望月 勝

Vol.43 2023年7月

Masaru Mochizuki Assembly Report

おかげさまで 県議5期目スタートしました 人口減少問題など県政と 共同歩調して対応します

令和5年は、新年早々の知事選さらに県議選の結果、県の行政、政治体制も一新されました。私にとっても、本年度は県議5期目のスタートとなり、新たな緊張感の中で、県政、私たちの暮らす地域の発展を願って処々での活動に取り組む日々を過ごしております。

この間、ほぼ3年に及んだ新型コロナウイルスによる混乱も、「2類」から「5類」への国による指定移行を踏まえ、当地域の暮らしの再構築を模索する日々を過ごしています。一方では、沖縄でコロナ禍第9波の発生が現実になるなど、本県でもまだ警戒を解くまでには至っておりません。 新年度の6月県議会では、人

口減少が止まらない本県での暮らし再構築策が議論されました。この中でも、県独自の水素エネルギーの開発、富士山世界遺産登録10周年に伴う新たな観光推進など様々な施策の提言、議論が展開されています。

長崎知事は2期目の公約に当たる「開の国づくり」への意欲を示し、2期目の初年の政策予算を盛り込んだ507億2983万円の一般会計補正予算を提出し承認されました。

私たちの暮らす南巨摩・西八代地区における緒課題への対応も含め、県議5期目の私にとって、気持ちを緩めることなく対応していく覚悟であります。

山梨県議会議員 望月 勝

この「望月勝議会活動レポート」に関するお問い合わせは TEL 0556-66-2036

〒409-2102 山梨県南巨摩郡南部町福士2643-11

1 県立高校のクラブ活動などの外部指導員について

望月 県立高校のクラブ活動などでは外部指導者が不足していたり、また保護者からは優れた指導員がいなくなった場合、クラブ活動の成績が悪くなったりするとの意見が出ているが、教育委員会として現状をどのように把握しているのか。

保健体育課長 人材確保が難しいと言われていたが、各市町村と連携し、教員OBや地域の指導者など、人材バンクを活用しながら人材確保に努めたい。

望月 先日、マイクロバスでクラブ活動の遠征に行った際に事故が起きたケースもある。先生方も危惧しているが、現状を教えてください。

保健体育課長 各高校でどのような指導者を任用しているのか全てを把握ができていないが、各高校で適切な方を選んでいると承知している。

望月 優れた外部指導者がいると総体などで良い成績が収められ、高校のランク付けも高くなる。逆に、成績が悪くなった高校は新入生



の募集にも影響が出てくる。生徒数が減っている中で学校側も募集に苦慮しているが、県教委の対応を聞きたい。

保健体育課長 外部指導者などの状況を把握する中で、改善すべき点があった場合は改善したい。

望月 教育長に伺いたい。これからの高校づくりの中で格差が出てはいけない。特にクラブ活動に力を入れる高校、また学業へ力を入れる学校、そういう部分で格差をつけて指導をすることがあると思うが、県教委として高校に格差が出ないような体制をどのように考えているのか。

教育長 クラブ活動は学校の大きな特色になっている。山梨県高校体育連盟は強化指定校制度を設けており、各高校の希望に応じてどの部活を強化指定するか決めている。今後も各高校の特色が損なわれることがないよう、高体連の活動の支援に努める。

いを教えていただきたい。

子ども福祉課長 子どもの学習支援事業は公民館などを活用し、生活の困りごとなどの相談に乗りながら学習を指導し、基礎学力の向上を図る。事業は福祉事務所単位で実施するため、県は市福祉事務所管内を除く町村部で取り組んでいる。2月1日現在、9町村で70人が参加し、子どもたちからは「学校生活が楽しくなった」「成績が向上した」との声を聞いている。

一方、新規事業は大学進学を目指す子ども向けの受験対策のための支援で、進学に重点を置いている。

望月 福祉事業からケースワーカーを派遣し、困窮世帯の高校生の大学進学を希望する生徒たちへ働き掛けるとのことだが、その点を教えていただきたい。

子ども福祉課長 ケースワーカーは生活保護世帯に関わっているので、そこを通じてアプローチしていく。

望月 塾によっては補助金の30万円の上限を超える場合があると思うが、どのように取り扱うのか。

子ども福祉課長 補助上限額は年間を通じ、継続して学習塾で支援を受けることが可能となるような金額を設定しているが、補助先となる学習塾に対して本事業の趣旨をご理解いただくことで、補助上限額を超える場合は塾側で割り引き、利用者への負担はかからない仕組みとしている。

望月 コロナによる所得減で、困窮世帯や生活保護世帯が増えていると思うが、補助金はできる限り条件を緩和していただき、子どもたちの夢をかなえていただきたい。



望月 学習塾によって学習内容も違うし、教科の内容も違うと思うので、注視していただきたい。次に、今回、子どもたちの貧困、公平公正に子どもたちが学べるということで計画をしたと思うが、子どもの学習支援事業費との違

1 市街地開発事業再開発事業補助金について

望月 長年にわたって甲府中心街をにぎわしてくれた岡島百貨店が3月にココリへ移転し、非常に残念に思うのは私だけではないと思う。今回の事業は甲府中心街のにぎわいの創出と人口増につなげる事業だと思いが、事業内容を聞きたい。

都市計画課長 国の優良建築物整備事業と県の市街地再開発事業などの補助金交付要綱に基づき、甲府市に対して補助金を交付するので、補助対象は調査設計費、建築物の除却費、共同施設整備費などとなっている。

経費のうち、国が3分の1、民間事業者が3分の1、地方公共団体が3分の1を負担し、地方公共団体の負担額の2分の1を限度として、県が補助する。今年度は建物の解体費用や建築の設計などにかかる費用1億9,450万円を計上した。

望月 この事業による中心街の将来性をどのように見込んでいるのか。

都市計画課長 現在の建物は老朽化し、耐震性も不足していることから、建物を撤去することで倒壊による人的被害の防止や緊急輸送道路の機能確保など県民の安全安心の向上を図る。

2 県道富士川身延線の整備について

望月 身延線と並行する県道富士川身延線は中部横断自動車道の開通で交通量が増えている。しかし、井出駅周辺は道幅が狭く、すれ違いの際に交通事故を起こしたり、側溝へ転落してしまったりする場合もある。富士川身延線の交通事業の進捗状況を伺いたい。

道路整備課長 中部横断道開通後、この路線の必要性は増している。県はこれまで南部町内の内船地区や寄畑地区、JRの駅前、南部の中心街などを中心に順次路線の整備を行ってきた。

望月 井出付近の工事状況と全体的な進捗状況を伺いたい。

道路整備課長 JR身延線の井出駅の北側から下井出地区までの未改良区間、延長1.6kmを全体計画として現在、改良事業を進めており、2工区に分けて実施している。まず、井手駅付近から南側、静岡側に向かって、急カーブや急勾配への区間を含む現道の改良として780m区間を1期工区として先行整備を行い、残る井手駅付近の約800mを2期工区と位置付けて事業を進めている。1期工区は平成25年度に現地工事を着手し、今年3月に完成し、供用している。

望月 1期工区は利用者から「安心して走ることができる」という声を聞いているが、2期工区の井出駅周辺は難工事を要すると思う。中部横断道の開通から1年半が経ち、富沢インター無料区間からの利用者も増加している。1日も早く着工に取りかかってもらいたいが、現状を聞きたい。

また、優良な建築物が整備されることで、定住人口の増加や快適な都市環境の形成、さらには甲府城南側エリアの整備との相乗効果により、回遊機能が高まり、中心市街地のにぎわいの創出に繋がると見込んでいる。

望月 地下1階と2階が駐車場、1階から3階が商業施設、それからはマンションと聞いており、期待しているが、スケジュールはどうなっているのか。

都市計画課長 事業期間は令和5年度から令和10年度までの6年間を予定している。今年8月に解体工事に着手、令和7年度から建築工事に着手し、令和10年度の完成、開業を見込んでいる。

望月 地域に密着した建築物であると期待するが、現状では周辺駐車場が混雑している。地下駐車場や周辺道路の維持管理をどうしていくのか。

都市計画課長 駐車場は商業棟の地下1階、2階に約300台の駐車場を確保している。周辺には民間駐車場があり、合わせて500台程度を確保することで渋滞が起こらないようにする。

道路整備課長 2期工区の井出駅前には身延線と富士川に挟まれて、非常に狭隘で急峻な地形条件になっている。そのため道路の構造や拡幅工事の工法などについて関係機関と協議を重ねたところ、昨年度、協議が概ね整い、道路計画を地元で昨年度示した。引き続き、今年度は地域の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、用地取得を進め、早期の工事着手を目指していきたいと考えている。

望月 今後も交通事故が増えたり、交通量が増えていくと思うので、地元の皆さまに大きな損失が出ないような道路を1日も早く造っていただきたい。

道路整備課長 中部横断自動車道も一昨年に山梨静岡間が開通し、峡南地域の道路状況や道路事情も変化が生じていると承知している。県は引き続き中部横断自動車道の開通効果をしっかりと地域に享受するという視点で、周辺の道路ネットワークの整備にしっかり取り組んでいく。

望月 中部横断自動車道とのアクセスが非常に重要になるので、一刻も早く工事をぜひお願いしたい。

道路整備課長 アクセス道路も含めた周辺道路のネットワークをしっかりと計画的に進めていきたい。

